

技術・家庭科 《第1学年技術分野》年間指導計画・評価計画

担当 (松井 厚)

技術・家庭科 目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

(例) 関は、生活や技術への関心・意欲・態度、工は、生活を工夫し創造する能力、技は、生活の技能、知は、生活や技術についての知識・理解

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	評価方法	小学校との関連	
4	ガイダンス <1時間> ○技術と私たちの生活 ○技術分野の学習	技術と生活、環境との関わりを考えさせる。	・身近な生活の中にも、さまざまな技術があることに気づかせる。 ・技術が生活の向上や産業の発展に影響を及ぼしていることを知らせる。	関	技術と生活の関係に気付き技術に役割に関心を示している。	授業監察	環境学習との関連
5	A 材料と加工に関する技術 身の回りの製品の設計と製作<6時間> ○ものづくりの進め方 ○様々な材料の特徴、材料と環境 ○製品の目的と機能、構造 ○材料と加工法 ○構想のまとめと製図 鉛筆立ての製作 <8時間> ○けがき ○切断 ○下地調整 ○塗装 ○穴あけ ○仕上げ塗装	技術が生活の向上と産業の発展に果たす役割を考える。 材料の特徴と利用方法を知る。 使用目的に即した製品の設計ができる。 工程表にそって製品の製作ができる。 安全に作業が進められる。 加工法と工具、機械の安全な利用ができる。	・ものづくりの進め方について、身の回りにある製品に使われている材料の種類を知る。 ・材料の特徴を知る。 ・製作品を図に表す方法を理解し、製作品の構想を図に表したり、製作のための図をかく。 ・製作品の製作の進め方の理解。 ・けがきの役割と、切りしろ・けずりしろの必要性を知り、正確にけがきができる。 ・のこぎりの構造やしくみを理解し、正確に切断できる。 ・穴あけのしくみを理解し、正確に穴をあけることができる。 ・製作品の表面や角を仕上げる技術を知り正確に仕上げができる。 ・仕上げの方法を理解し、構想通りに仕上げる。 ・木材、金属やプラスチックに適した加工方を理解し、適切な製作ができるようになる。	関 工 技 知	技術と生活の関係に気付き技術に役割に関心を示している。 技術の進展と環境との関係について関心を示している。 環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。 適切な製図法で製作品を書くことができる。 製作品に合った様々な加工を適切に行うことができる。 木材の材料の特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 製作図の見方、描き方の知識を身に付けている。 材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。	授業監察 学習プリント	図画工作5年生 実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたものを作る。」などで使用する工具や加工法との関連
6				授業監察 学習プリント	授業監察 学習プリント	図画工作6年生 実習例「美しい光を出すライトをつくる。」などで使用する工具や加工法との関連	
7				授業監察 学習プリント 作図テスト	学習プリント 定期考査		

	A 材料と加工に関する技術まとめ <1時間>	製作に関する評価・活用ができる。	・材料にあった加工法や製作の進め方ができるようになる。	知	材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。	学習プリント定期考査	
9	D情報に関する技術 <8時間> ○情報と私たちの生活 ○コンピュータの構成 ○情報を処理するしくみ ○デジタル化と情報の量 ○コンピュータの基本操作	コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。情報利用の基本的な仕組みを知る。 コンピュータを使った情報の利用ができる。	・コンピュータを利用した情報の技術の利用例やはたらきについて関心をもつ。 ・コンピュータを構成する要素の種類や役割を知る。 ・コンピュータが情報を処理するしくみを知る。 ・デジタル化した情報の量の表し方と、保存する方法を知る。 ・ネットワークの種類と構成を知る。 ・ネットワークで情報を伝えるしくみを知る。 ・ネットワークの危険性と安全対策の必要性を知る。 ・安全に情報を利用するためのしくみを知る。	関	情報社会で適正に活動しようとしている。	授業観察 学習プリント ワークシート 小テスト	小学校総合的な学習の時間 探究的な学習活動における学習課程 「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の各活動との関連 図画工作5、6年生の課題で利用する「デジタルカメラ、パソコン、スマートフォン、スキャナ、画像処理ソフトウェア」などの関連
10				IT	情報に関する技術を利用して場面に応じて活動できる。 デジタル作品の使用目的や使用条件に適したメディアやデジタル化の方法を選択できる。	授業監察 ワークシート	
11	情報モラル<2時間> ○利用するときのモラル ○人権や個人情報の保護 ○知的財産の保護	著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えることができる。		技	適切な機器とソフトウェアを利用して情報の表現や発信ができる。	授業監察	
12				知	情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響の理解。 コンピュータを構成する主な装置と基本的な情報処理の仕組みについての知識を身に付けている。 著作権や発信する可能性のある問題と情報発信者の責任についての知識を身に付けている。	定期考査	
1	C 生物育成に関する技術 <9時間> わたしたちの生活と生物育成 ○生物育成とは ○植物の特性と生物育成技術 ○作物の栽培 ○栽培ごよみ ○環境要因 ○カイワレダイコンを育てる ○栽培計画	生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培ができる。 生物育成技術の役割や、わたしたちに与える影響について考えることができる。	・生物育成の意味とその目的、わたしたちの生活における役割を知る。 ・作物の生育に適する条件を理解する。 ・目的とする作物の生育に適切な手入れのしかたを理解し、適切な管理ができる。 ・自分の栽培する作物の計画をまとめ、見通しを確かにする。	関 知	光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。 環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培方法を検討しようとしている。	学習ノート 定期考査 定期考査	技術花ややさいをそだてよう（たのしいせいいかつ下） 「季節と生き物」（4年理科） 生命のつながり 「植物の発芽」「植物の成長」「植物の花のつくりと実や種子」（5年理科） 「植物の成長と日光や水とのかかわり」「生物とそのかんきょう」（6年理科）
2				IT	目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討した上で、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。	授業観察 学習ノート	
3				技	計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。	実習作業 授業観察	

技術・家庭科 《第1学年家庭分野》年間指導計画・評価計画

担当 (中田 慶子)

家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術をするとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

★**関**は生活や技能への関心・意欲・態度、**工**は生活を工夫し創造する能力、**技**は生活の技能、**知**は生活や技術についての知識・理解

月	題材名	指導目標	指導内容	評価規準	評価の方法	小学校との関連
4	A. 家族・家庭と子どもの成長（ガイダンス） <1時間> わたしの成長と周囲の人びと	・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付く。 ・小学校の学習を振り返り、自分の成長を知るとともに、3年間の学習に見通しをもつ。	■ わたしたちの成長をふり返る。 ◇自分たちの成長を家族や身近な人達に聞き、年代ごとに出来事やかかわった人達についてまとめる。	関 ・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。 ・自分の成長を知るとともに、3年間の学習に見通しをもつことができる。	行動観察 プリント	・成長したわたし（家庭）
	1. わたしたちと家族・家庭と地域 <4時間> ①家庭のはたらき ②家庭の仕事を支える社会 ③わたしたちの家庭生活と地域	・様々な家族について知る。 ・家庭や家族の基本的な機能を知る。 ・衣・住・食の営みにより、基本的な欲求が満たされ、家族との関わりの中で心の安らぎが得られることを理解する。 ・家庭生活と地域との関わりを考える。	■家庭のはたらき ◇毎日の生活をふり返り、家庭の仕事を分類する。また、家庭の仕事を主に誰がやっているか印を付ける。 ◇地域の活動について話し合い、人びととのつながりで成り立っていることを理解する。	関 ・家庭と家族関係について関心をもって学習活動に取り組んでいる。 知 ・家庭や家族の基本的な機能について理解している。	行動観察 プリント ペーパーテスト プリント	・自分はっけん（低学年 生活） ・ありがとうをとだけよう（低学年 生活） ・かぞくでいっしょにおしおがつ（低学年 生活） ・見つめてみようわたしと家族の生活（家庭） ・できるようになつたかな 家庭の仕事（家庭） ・家族とほっとタイム（家庭）
5	4. これからのわたしと家族 <3時間> ①学生と家族とのかかわり ②これからのわたしと家族との関係	・家族と社会との関わりを理解し、家族関係をより良くする方法を考える。 ・家庭生活と地域との関わりに関心をもち、地域の人々とのつながりの大切さに気付く。 ・家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとする。 ・自分の生活や事例にあげられている家族の課題を見付け、家族関係をよりよくする方法について	■これからの家族関係を考える。 ◇ふれ合い体験を通して、家族の役割について考える。 ◇中学生として、家族との関係をより良くすることを考え発表する。	関 ・これからの自分と家庭の関わりに関心をもち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。 工 ・自分の生活や事例に挙げられている家族の課題をみ付け、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。	行動観察 ワークシート 行動観察 ペーパーテスト プリント	
				知 ・衣・住・食の営みにより、基本的な欲求が満たされ、家族とのかかわりの中で心の安らぎが	ペーパーテスト プリント	
7						

		て考え、工夫する。		得られることを理解する。 ・家庭が家族以外の活動や施設によって支えられて、地域や社会とつながっていることを理解する。		
9	C. 衣生活・住生活と自立 2. 衣生活の自立 1 日常着の活用 <10時間>	・衣服と住まいが自分をおおっている環境であることに気付き、これから学習に意欲をもつ。 ・TPOに応じた衣服の着用を知る。 ・衣服と社会生活との関わりを考え、衣服のコーディネートをする。 ・衣服の計画な活用や入手方法を考える。 ・衣服の計画的な活用の必要性を理解する。 ・既製服を購入する時の注意点について、情報を収集・整理することができる。	■自分らしく着る。 ◇移動教室等、目的を設定し手持ちの衣服を活用し着方を考える。 ◇試着のポイントや既製服の表示の種類と意味を知る。	■自分らしく着る。 ◇移動教室等、目的を設定し手持ちの衣服を活用し着方を考える。 ◇試着のポイントや既製服の表示の種類と意味を知る。	行動観察 ワークシート	・寒い季節を快適に(家庭) ・暑い季節を快適に(家庭)
10	①自分らしくコーディネート ②衣服のはたらき ③衣服の構成 ④衣服の入手計画と選び方			■自分らしく着る。 ◇移動教室等、目的を設定し手持ちの衣服を活用し着方を考える。 ◇試着のポイントや既製服の表示の種類と意味を知る。	行動観察 ペーパーテスト プリント	
11			■自分らしく着る。 ◇移動教室等、目的を設定し手持ちの衣服を活用し着方を考える。 ◇試着のポイントや既製服の表示の種類と意味を知る。	■自分らしく着る。 ◇移動教室等、目的を設定し手持ちの衣服を活用し着方を考える。 ◇試着のポイントや既製服の表示の種類と意味を知る。	ペーパーテスト プリント	
12	3. 布を用いた物の製作 <6時間> ①製作しよう	・衣生活・住生活の学習を振り返り、衣生活・住生活を豊かにするためのものの製作に関心をもち、計画を立て、製作を行う。 ・作品を作り方の手順に従い、意欲的に製作をする。	■生活を豊かにするためのものを作る。 ◇自分の生活をふり返り、生活に生かせるエコバッグを製作する。 ◇製作手順と要点を知り、製作計画を立て、製作する。	■生活を豊かにするためのものを作る。 ◇自分の生活をふり返り、生活に生かせるエコバッグを製作する。 ◇製作手順と要点を知り、製作計画を立て、製作する。	行動観察 プリント	・はじめてみよう ソーイング(家庭) ・わくわくミシン(家庭) ・生活を楽しくしよう ソーイング(家庭)
1	2. 日常着の手入れ <6時間> ①衣服の汚れと手入れ ②衣服の素材と手入れ ③衣服の洗濯 ④・衣服の収納・保管 ⑤衣服の補修	・衣服を快適に着用するための手入れの方法を知る。 ・衣服の材料や状態に応じた洗濯・補習・手入れができる。	■気持ちよく着る。 ◇手入れの必要性と方法について知る。 ◇標準服等を利用し、ブラシかけとアイロンかけを実践する。	■気持ちよく着る。 ◇手入れの必要性と方法について知る。 ◇標準服等を利用し、ブラシかけとアイロンかけを実践する。	行動観察 ワークシート 実習の記録	
				■気持ちよく着る。 ◇手入れの必要性と方法について知る。 ◇標準服等を利用し、ブラシかけとアイロンかけを実践する。	実習の記録 プリント ペーパーテスト	

2	1. 住生活の自立 ①住まいのはたらき <2時間> ②住まいの様々な役割 ③共に住まう	・住居の基本的な機能を知る。 ・住空間と生活行為の関わりについて考える。	■住まいのはたらきを知り、安全で快適な住まいについて考える。 ◇住空間の役割を知り、住宅広告や教科書の住空間例を参考に、家族にあった部屋割りを考える。	知	・住居の基本的な機能を知る。 ・住まいは地域の特性と関わっていることに気付く。	行動観察 ペーパーテスト プリント	・かぞくでいっしょにおしょうがつ (低学年 生活) ・かたづけよう 身の回り (家庭) ・寒い季節を快適に (家庭) ・暑い季節を快適に (家庭) ・きれいにしよう クリーン大作戦 (家庭)
3	2. 健康で安全な住まい <4時間> ① 家族の健康と住空間 ② 家庭内の安全 3. 住まいと地域 ①災害への備え ②災害時の住まいと暮らし ③地域に配慮した住まい方	・自分の家族の安全を考えた室内環境の整え方を工夫する。 ・安全で快適な住まい方を理解する。 ・住空間と生活行為の関わりを考える。	◇家庭で行っている安全対策や災害対策を話し合い、自分の家庭の対策について考える。 ◇室内空調の必要性を知る。	関 国	・安全で快適な室内環境に关心をもち、住まいの課題を見付けようとする。 ・自分の家族の安全を考えた室内環境の整え方を工夫している。	行動観察 プリント 行動観察 プリント	